

平成 28 年 3 月 1 日

岡本

## 「第 8 回団体交流会」グループワークの内容

**議題「現在の活動でうまくいっていること。出来ていないこと。」**

1 班参加者：渡辺氏・片山氏(狭山中/環境)、金子氏(南中円卓/環境)、松村氏(まち研/都市)、中尾氏・中澤氏(まち研/環境)、大坪氏・大山氏(ごみ減量推)、板谷氏・池側氏(北自治会)、辻内((株)GE)池田先生

VIC：中西、岡本

### 活動内容紹介

狭山中/環境：まちの美化運動の一環として、啓発の看板(ポイ捨てをやめましょうとか水路を綺麗にしましょう等)を 30 か所ほど設置した。

南中円卓/環境：花いっぱい運動として柵の作製・修理、注意喚起看板の点検(陶器山通りの電柱の落書き、天野街道看板の撤去)と改善等に取り組んでいる。

まち研/都市：都市開発計画がどうなっているのか、それに与える環境はどのようになっているのか等の問題点を抽出。その中で道路問題、住宅開発について取り組んでいるが現在行き詰まっている。この交流会で何かつかめたらと思い参加した。

まち研/環境：天野街道の美化、太陽光発電による公共施設の屋根の利用、空き家問題、ごみの減量対策。今後は有価物の回収団体を増やしたい。メンバーが少ない、横の交流を進めたい。

北自治会：有価物を捨てないよう徹底してやっている。団地内の掃除・草刈り、プルトップの収集。円卓会議の行事(三ツや川の掃除、電柱の落書きの消込等)に参加している。

(株)GE：会社から出てくる産業廃棄物の受け入れ。収集・運搬した廃棄物を選別し素材・原料に加工、さらにそれを製品化して社会に還元している

ごみ減量推：池祭り等に参加、紙をごみとして出さないでリサイクルとして回収(売却代金が入る)

### うまくいったことよかったこと

- ・ごみ減量対策として狭山市ごみ減量対策推進会議を立ち上げたこと。ごみ減量 News の発行(まち研/環境)
- ・水切りネットの展開(ごみ減量推)
- ・イベント(池まつり)での PR などは効果があった。このような機会を利用すべき(ごみ減量推)
- ・地域コミュニティの向上に微力だが役立っている(狭山中/環境)

### 苦勞したこと

- ・有価物回収団体の組織化(まち研/環境)
- ・資源再利用可能な物品の回収団体を可能な限り市内で 100%に近づけたい(ごみ減量推)
- ・苦勞したことなし→苦勞だと思っていない(ごみ減量推)

## 問題・課題

- ・資源再利用回収団体が増えているが判別出来ていない(ごみ減量推)
- ・狭山ニュータウン西交差点の交通事故防止策(昨年同交差点の信号機の LED 化が実現した)(南中円卓/環境)
- ・陶器山通りの看板の点検。天野街道の美化のために看板調査(南中円卓/環境)
- ・資源再利用物品を 100%回収したらかなりごみが減るのが判っているが出来ていない。子供会、自治会、老人会、～会がもっと参加して頂ければ.....集合住宅から PR していきたい。(ごみ減量推)
- ・大阪狭山市の景観条例を提起しているが実現しない。(大阪府の景観施策計画しかない) (まち研/都市)
- ・地域を指定して景観を守る(陶器山、さやま池他) (まち研/都市)
- ・構成員の高齢化は進むが若手の補充、拡大が進まない(狭山中/環境・ごみ減量推)
- ・西除川、三津屋川から流れてくるごみの除去を誰がやるのか。ボランティアに頼るだけでなく府と市の事業としてもっと力を入れて欲しい(狭山中/環境)
- ・ごみが各地区でどのように減じているか。大野台、狭山、三中の比較が知りたい(ごみ減量推)
- ・部員が少ない(ごみ減量推)
- ・メンバーの減少(各団体)
- ・高齢者、一人暮らしの増加(北自治会)
- ・新しい課題をみつけ活動を活発にしたい(ごみ減量推)
- ・ごみ減 News をみてくれない→広報に挟む案や配布員が配る案があるが金がかかる
- ・住居地域内を抜け道として利用しているため大型車の通行禁止 (南中円卓/環境)
- ・人材の確保(南中円卓/環境)

以上